

M-DL-GACE 取付ガイド

M-DL-GACEは、Allen&Heath dLive I/Oポートに接続できる複数のオーディオネットワークオプションの1つです。128x128ch、96kHz gigaACEのポイントtoポイントリンクを別のdLiveミキシングシステムに提供します。

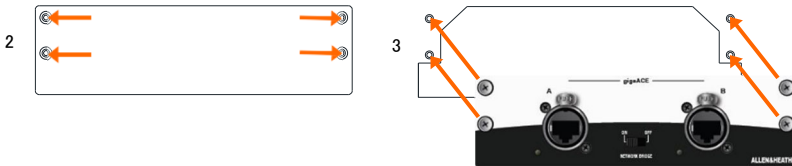
gigaACEは、標準的なCATケーブルを使用して、イーサネット経由でオーディオとコントロールを転送する独自のAllen&Heathプロトコルです。レイテンシーが非常に低く、ケーブルリダントを搭載し、同じ接続を介してTCP/IPネットワーク制御をトンネルできます。

※CAT5e以上のケーブル(ケーブル長:最大100m)を使用してください。

※M-DL-GACEには、dLiveファームウェアV1.3以降が必要です。

カードの取付

1. システムの電源を切ります。
2. dLive MixRackまたはサーフェイスに固定されたI/Oポートダミーパネルの4本のネジを外します。
3. カードをスロットに差し込み、受け側のコネクタにしっかりと押し込みます。
4. 4本のつまみネジを締めてカードを固定します。



クロックと信号のパッチ設定

dLiveのI/O設定画面を使用して、I/Oポートから(またはI/Oポートへ)信号をパッチします。

MixRack/Audio/Audio Sync画面でクロックソースを選択します。マスターシステムではInternalに、その他すべてのネットワーク(クロックスレーブ)システムでは関連するI/Oポートに設定します。

※dLiveの設定と機能の詳細については、www.allen-heath.comでダウンロードできるdLiveファームウェアリファレンスガイドを参照してください。

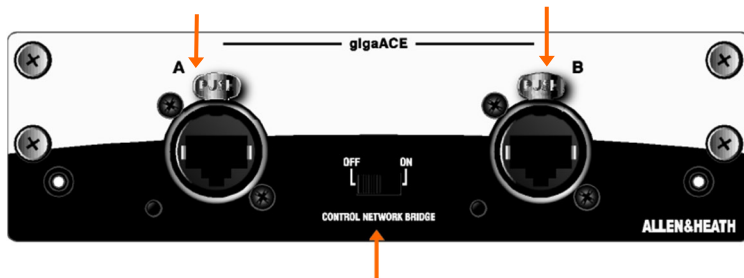
フロントパネル

gigaACE Port A:

他のデバイスのgigaACEポートに接続します。Link Status LEDが黄色に点滅してネットワークの動作を示します。接続またはデータエラーが検出されると、赤色に点灯します。

gigaACE PortB:

リダンダントバックアップ接続用です。



コントロールネットワークブリッジ

dLiveコントロールネットワークをgigaACEにリンクし、dLiveコントロールデータとサードパーティのイーサネットデータがgigaACE接続経由でトンネルされるようにします。たとえば、このスイッチをオンにしてデジタルスプリット設定にすれば、Directorを実行しているノートパソコンがFoHまたはモニターシステムを制御できるようになります。

- ※コントロールネットワークブリッジを有効にする前に、ネットワーク上のすべてのデバイスが同じサブネット内で固有の互換性のあるIPアドレスを持っていることを確認してください。